



詩集

# 君が思うよりもずっと

添嶋 譲





朝起きて

君に会いたいな  
そう、思った



「君が思うよりもずっと」



添嶋，讓

「手紙（出すことも、読まれることもない）」

初めて手紙なんか書きます

読まないで捨ててくれたっていいです

授業中にこっそり書いた手紙です

たぶん内容なんかいいです

いつもすれ違うたびにドキドキしています

本当は話しかけたいのです

なにが好きでなにが嫌いかわからないので

僕は君に声をかけることができません

本屋で立ち読みをしているときに

君の読む雑誌の名前を見ました

映画 映画が好きなのだとわかりました

僕はどちらかというと苦手だけど

いつかいつしよに見にいきたいと思うようになりました

(ほんとうはきみがきみのともだちと

(ぼくのことをはなしているのをきいたことがあります

(そのときはおもいだしたくありません

(だけどわすれないようにしていようとおもいました

君の好きな音楽を聴いて眠ります

夢の中で僕が君に話しかけます

笑っている君が好きです

ただそれだけで幸せです

君の好きな本を読みます

君の考えていることがわかるといいのにとおもいます

僕のことなんか見えてなくてもいいです

僕が勝手に好きでいるのだから

君が笑うと僕も笑います（こころの中で  
君が悲しそうにしていると僕も悲しいです  
君が幸せそうにしているのが僕の幸せです  
いつか君と話がしたいです

君が笑うので僕も笑います（こころの中で  
おかしいと思うかもしれませんが

僕はそれだけでいいのです

僕は君が好きです

僕は君が大好きです

僕は必要ないことも

僕がいなくてもだれも困らないことも

君が本当は僕のことを嫌いなことも

僕は全部知っているのです



君が望めば僕はここからいなくなってもいい

~~(あのとき君は僕に言ったよ)~~

~~(僕は死ぬかと言った)~~

~~(言わなかったけど)~~のつもりだから

授業中に板書をノートにとる君を見るのが好きです

バスケットで相手をするりとぬけていく君を見るのが好きです

くだらない話で盛り上がって笑う君を見るのが好きです

僕のそばを通るときに眉をひそめても

僕が視界に入っただけをそらしても

君がつぶやいた言葉が鋭いトゲとなって僕に何度も刺さっても

僕は君が好きです

僕は君が好きです



僕の手紙はこれで終わりです

きつと君に届くことはないでしょう

もしも手にすることがあったとしても

読まずに捨ててくれていいです

君を笑顔にすることはできないので

読まずに捨ててくれていいです

「夏休み」

毎年 君が来るのを待っていた

白いシャツ

ばかりと開けて笑う口

日焼けした腕

ぼろぼろの運動靴

太陽を隠すように広げた手

話して走って飛んでじゃれて

わかってはいても

このままずっと を願っていた

夏

カレンダーにバツをつけて



その日が来るのを待ちわびる夏



初出

「海岸」(二〇一三年六月三〇日)  
はてなダイアリー 掲載

「写メ」(二〇一三年九月二六日)  
ウェブサイト言葉の工房 掲載

一四ページ(二〇一三年五月五日)

「夏休み」(同年七月九日より加筆訂正)

二六ページ(同年八月二二日)

「浴衣と眼鏡」(同年七月二三日より加筆訂正)

四二ページ(同年九月一日)

五二ページ(同年八月二九日)

六一ページ(同年六月二八日)

八四ページ(同年九月六日)

九七ページ(同年二月二八日)

ツイッター #twpoem にて発表。

他はすべて書き下ろし。

## 著者紹介とごあいさつ

添嶋 讓 (そえじま ゆずる) @literaryace

一九七一年生まれ、週末物書き。自意識過剰な思春期・悩める学生時代・人にもまれる書店員時代を経て現在。気がついたらこんなところまで来てしまったよ。

自主製作本に「ささやかだけど、たいせつなこと」「Into the blue」「眠れない夜のために」「10 years after」など。ときどき他のサークルさんに寄稿もしています。

さて。拙作を手にとっていただきありがとうございました。今回は「好きの気持ち」をいろんな形で凝縮して詰めこみました。写真も含めてやっと、自分のしたいことの近くまでこられた気がします。やればできるじゃないか。

どのページのどの言葉でも写真でもいいので、気に入ってもらえたらうれしいなあ。それではまたいつか、どこかでお会いしましょう。

君が思うよりもずっと  
(DEMO版)

<http://p.booklog.jp/book/77844>

著者：添嶋 譲

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/literary-ace/profile>

言葉の工房：<http://literary-ace.littlestar.jp>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/77844>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/77844>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ